

釧路南ロータリークラブ会報

第41回 例会報告 2011.5.13 通算1395回

・点 鐘 木内会長

・ロタリーソング
「我等の生業」



ソングリーダー 山本 美穂会員

・会長挨拶



会員の皆様こんにちは
今日のプログラムは、クラブ創立記念、パスト会長卓話となっております。釧路南ロータリークラブは今年の6月23日で創立29年目になります。来年の6月23日は30周年、長倉会長のもとで、記念式典が開催されますが、そろそろ準備をする時期になってきましたが、それまでにはもう少し会員を増やしておかないとも思っております。次年度私は会員増強委員長になっていることもあって、プレッ

シャーを感じております。また、創立は1982年昭和57年当時は釧路町ロータリークラブとなっております。また、ガバナーは釧路ロータリークラブの清水幸彦ガバナーで、チャーターメンバー28名でスタートしていますが、今は小野チャーターメンバーが残っており、クラブとしても大事な存在となっております。小野会員は、まだ病気のため、例会には出席していませんが、今日例会終了後、顔を見に行つて来ますけど、一緒に行く方がいれば、私の方へお願いします。また、明日14日(土曜日)第7分区の会長、幹事会が開催されます。内容については次週の例会でお話をします。以上会長挨拶とさせていただきます。

・幹事報告



- * 釧路市総合政策部より平成23年度国際理解講演会のお知らせが届いております。内容は回覧にてご覧ください。
- * (社)北方領土復帰期成同盟釧路地方支部より通常総会開催のご案内が届いております。こちらも内容は回覧にてご覧ください。

・委員会報告

親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金

小野 一明会員 快気祝いとして

出席委員会

会員 24 名 14 名出席 出席率 58.3%

国際奉仕委員会 福井克美委員長



地区国際奉仕委員長竹村陽子さんから依頼があった「切手、はがき、募金」を5月末までに提出しますので来週の例会で締め切ります。ご協力をよろしくお願い致します。

・小野一明会員 退院挨拶



入院中はお世話になりありがとうございました。3月の中旬に入院したわけですが、一晩で足が動かなくなったり、口が回らなくなり病院に行ったところ、即入院する事になりました。手足や口のリハビリを退院するまで毎日行っていました。喋ることが大変でしたがだいぶ喋ることもできるようになりました。また、クラブからもお見舞いを頂きありがとうございました。

・本日のプログラム

「クラブ創立記念 パスト会長卓話」

担当 国際社会奉仕委員会

■長江 勉会員



《釧路町ロータリークラブ創立まで》

● 創立総会

1982年6月23日 釧路町コミュニティセンター

● 国際ロータリー加盟承認

1982年6月30日

● 認証状伝達式

1982年9月5日 釧路東映ホテル

● スポンサークラブ

釧路ロータリークラブ

会長 鈴木信夫 幹事 吉井祥朔

● 特別代表 山下義則

● 拡大補佐 川口 雄

● 実務担当者 村上 敬 高間 務

● 拡大委員会 委員長 梁瀬 誠也

委員 白崎 功一

富山 憲一(拓銀)

掛田 正美(道銀)

後藤 舜成(北洋)

《釧路町にロータリーの灯を！》

釧路町にロータリーの灯を！という気運がたかまったのは1982年3月14日の夜であった。

清水幸彦ガバナーが主催する次期会長・幹事研修会も終わり、ホストクラブとして準備に取り組んだ釧路RCメンバーがその夜反省会をかねて慰労会を開催した。その席での事である、我がRCの若きエース清水ガバナーも任期3ヶ月余りを残し、ガバナーとして精力的に行動し、ガバナーとしてなさねばならない事をほとんどやりとげた事は衆目の認めるところである、しかし、ただひとつロータリーの

拡大という大事なことが積み残しのまま任期を終えるのではないか？清水ガバナー自身で行動する事も出来ないし、ガバナー事務所、ホーム・クラブにそれを要請することも出来ない、ガバナー自身の行動で成し得るものであるならば、あの若さと、あの行動力とで、もう新クラブの一つや二つ創りあげていたであろう。

1 つ新クラブを清水ガバナーの任期中に是非とも創ろう、と言う話とその夜の酒席で出たのである、酒席で新クラブの話など不謹慎であると思われるかも知れないが、我が釧路RCのメンバーは、例え酒が酔いをもたらしていても、重要な話が出ると酒の酔いなどすぐに消え去ってしまう程、すべてに柔軟性を持っているのである。すぐに“重要会議場”に転じ“重要会議”が進行し、どこに、どのようにして新クラブを創ったらよいか議論が続き、その結果、隣接の釧路町は人口が1万4千人程の新興町でありながら、ロータリークラブも友好クラブもそれに類似する団体もない、早速作業に取り組むことが決まり、堂垣内副会長を中心にして作業に取り組むことが決まったのである。

阿寒湖RC創立時の拡大補佐山下義則(元会長)、同じく阿寒湖RC創立に際して、実務担当者として西川事務所から指名された村上敬(元副会長)、高間務(元幹事)の3名が行動隊？に指名され、翌3月15日午前10時から、釧路町に乗り込み行動開始となった。宮崎畜産社長を訪ね、引続き昆布盛漁協の小西組合長を訪ね、それぞれロータリークラブを創るために協力を要請したのである。2ヶ月ほどの時間が流れ去ってしまったが、あまり具体的な話がなく、再び堂垣内副会長と共に釧路町役場に松浦助役を訪ね、協力を要請したのである。この間、新保英二分区代理が、釧路町の高橋町長、昆布盛漁協小西組合長らに、協力要請をしていただいたのである。5月中旬になってから、山下、村上、高間の3名が、頻りに釧路町に入り、商工会名簿を片手に、個別訪問を続け、数名の方々から良い感触を受けたので、鈴木会長にその旨報告し、5月25日に第一回の会合を東映ホテルで正式に持つことが出来たのである。第一回会合には、釧路町側から8名の方が出席、清水ガバナー、山本地区幹事、鈴木会長、松本次期会長らも出席し、新クラブ誕生へ一歩前進することが出来た。清水ガバナーがダラス国際大会出席のため釧路を発つ日を目標に作業を進めることにした10

日余の日数である、朝に夜に、釧路町へ、まったく狂気の作業である。出発の日の午後、予定の23名の名前が出揃ったのである。ガバナー事務所の若杉章子さんがタイプを打つ傍らで名簿の原稿を書くと言う状況のうちに、ガバナーの送別会が予定されていたのでそちらの会場へ！送別会の席に創立のための一切の書類が届けられたのである。清水ガバナーが国際大会に出発してからも2~3名の脱落者？が出たり、新規に入会を希望するものが現れたりしたので、ガバナーに持参していただいた名簿は、絶対に脱落者を出してはいけないと言う気持ちで毎日釧路町に車を走らせたのである。清水ガバナーが国際大会を終えて帰釧した6月14日に第二回目の正式会合がもたれ、今後の作業日程が決まり、会員候補者の確認、クラブの名称、クラブの区域限界、例会場および例会日、会費入会金、クラブ定款及び細則などを内定し、6月23日に正式に創立総会を開催することを決定、しかし会長、副会長、幹事その他の理事、役員を決めることが出来ず、あらためて6月21日に釧路町コミュニティセンターで第三回目の会合を開催、ようやく会長以下の理事、役員の内定をみる事が出来たのである。6月23日創立総会の日の中にも入会希望者があつたりして、当初予定していた23名を上回る26名の創立会員を持って創立総会に望むことが出来た。

《実働30日余で創立総会》

5月25日に、第一回目の会合を持ってから、山下特別代表を中心に、釧路RCの総力を結集して、釧路町の方々と接触し、昼夜の別なく、ロータリークラブ創立のために行動し、多少の無理難題に遭遇しながらも、目的達成のために動くことによってようやく実現したのである。

山下特別代表が人選した、拡大委員会のメンバーは、まったく戦力として申し分のない方々であった。

川口雄君は拡大補佐として、寸分のすきもなく特別代表をカバーし、拡大委員になられた方々は、それぞれの職業を通じて、新クラブのメンバーの人選に活躍されたのである。我が釧路RCは、目標を定められれば、どんな事にでも取り組む力を温存しているのである。先年の地区年次大会のホストクラブとしての場合、又、阿寒湖RC創立の際にしてもしかりである。

これがクラブの歴史と言うものであろうか。

《釧路町仮ロータリークラブ会長に木内氏》

釧路町仮RCの会長に木内木材工業㈱の木内周治氏が就任。木内会長は、スポンサークラブ釧路RCの会員であり、ロータリー歴22年の列記としたシニアアクティブ会員である。木内会長は職種の関係で釧路町に本社工場を数年前に移転され、同町商工会長などを勤められた事もあり、同町のアクティブな町民でもある。山下特別代表の熱意に答え、その任に就く事になったのである。副会長には、衛星交通㈱斎藤保夫社長、幹事には、釧路東RCに席を置いたことのある、釧建商事の佐々木正俊社長、副幹事には、釧路北RCに長く在籍した若きホープ小林鉄工の小林照昌社長がそれぞれ就任した。新生ロータリークラブであるがロータリー歴を有する方が会長以下4名いるのが何と言っても心強い限りである。

以下チャーターメンバー26名を記しておく。

- | | |
|-------|--------------|
| 葛西 紀逸 | ㈱かさい |
| 工藤 虎三 | 工藤牧場 |
| 河野 啓介 | 昆布盛漁協 参事 |
| 河野 好昭 | ㈱河野米穀店 |
| 佐々木正俊 | 釧建商事 |
| 斎藤 保夫 | 衛星交通㈱ |
| 辻村 豊 | 辻村鉄工 |
| 松並 正幸 | 松並建材店 |
| 若原 和弘 | (有)北日産業社 |
| 渡辺 慶三 | 渡辺製作所 |
| 佐々木秀雄 | 釧路建設㈱ |
| 浜口 龍司 | 公害防止技術センター |
| 小野 温 | 臨床検査センター |
| 中山 勝範 | 釧路厚生社 |
| 木内 周治 | 木内木材工業 |
| 小林 照昌 | 小林鉄工所 |
| 平 勲 | 釧路商工信用組合桂木支店 |
| 長谷部光治 | 丸二サッシ工業 |
| 熊谷 武雄 | ふじ理髪店 |
| 森 精造 | 森漁協部 |
| 太田 一男 | 運輸 |
| 辻 忠人 | |
| 甚野 是 | 甚野建設 |
| 小野 一明 | 小野鉄工場 |
| 竹内 寿 | 竹内電気 |

■高橋 康成会員



4月24日旭川で開催されました地区協議会参加、第6分科会ロータリー財団についてのお話がありました。



・次回のプログラム

5月20日(金)

「新入会員卓話」

会場 釧路ロイヤルイン11F

担当：クラブ運営委員会

・点 鐘 木内会長



今週の会報担当：長江勉会員